



おかげさまで ホール・アーム・ツバメ 開所となりました

園たねすよもほと耕は在うりに事をでいまい金グ援
部だ礼簡。ろどす、し、は事、はもい二ましろ活ルす園
共きの单しも。奮い世入が盛関すた三してご動る部
所同ま言でくホ今闘生話居出大係みだ〇たあ援のブ会、同
長作す葉はお!後努活人メ来に者、き万。り助節ホ
業所とあ願ムは力にさんま開一四無円おがをに一員の
杉山さりいつ作中馴んばし所同月事もかといはムの
俊夫せま致ば業で染をした式が一改のげうた、設皆
てすしみ所あも含さ。を集三修募さごだい立様
いがまをとりうめん現行ま日工金まさきろ募、支

ルスタートしましました
ープホームつぼみグ



出し害りり自とのブげ只く想支開要し大立足すでれ労來今がな意の下が声のがななの黒迎1日
来て者たま覚社中ホる々こを援心望たき資当。いたがた日開つが、さらを快出式か来田えム、希
る希のいすが会で!と心と超の、がな金時昨るかい委迄所た実障る開聞適來典で賓町、つ待望
よ望福と事よの入ム共かがえ輪多願、惱がは年ととさ員銳でグを害多係くなまを、の村弓ば望の
う者祉存にり一居でにら出るがくい私み調如五こ、さ会意きル結者く機と生し開泰御会削みの春
ながもじ努前員者の今感來御広のを共で達何月ろ共かと取ま!ん福の開き活た催朴臨長保のグ四
施全更ま力進とが共後謝ま厚が方福のもでに委で々でしりレブで祉皆の、に。す乍席始健開ル月
策てにすししし、同グ申し意り々祉切あるきし員あにもて組事、へ々又今喜入るもをめ所そ!の
の利前。ててて自生ルしたを、のに実りて会り喜報そんに新の様支更び居こ盛頂多長式ブ佳
充用進障參參の立活!上。頂予御御なま、設發まんわので、ム装善方援なの者と大大く、をホキ

れだいだい人グ業が過ななどとし原も
なろまきかにル所、ぎい世な生たつ町満四
がうしまとな!へ突よま間り涯。ばに開月
らかたしのつづ勤然うまのま忘そみ、の十
、。たおてホめ、と、事しれがグ日三
四不私、言い!て園し人をたらは開ル、日
月安に私葉たム、部て生何。れ私所!園
かに出はをだのそ共い半も私なにさブ部桜
らか来戸いけ世し同たば知のいとれホ町の
食らる惑たな話て作者をら様日つま!河花

世話人の
お仕事

グまでのを実
設ルす感暖おに
立!一ブホームつぼみ
委員長
垣村武夫



きをつそえていか汁なことがいかこ命いい部事
た燃とするもたい、くのにり心つのはるる屋、
話いや勉て自らだ心暖て人くやのて人こ内人をお
人とし強福分えきでかも達よの持來達こ、達も風
思てし社で信、おいーのく人ちまのに私とら呂
野、頑てのあ頼何世ご所母よ、主し心あの生つ、
ま張、こりしで話は懸親惱一、たもる生活て各
々す。つことたてもさん命にむつさ。大の涯を喜自
光てのをいも言せ、みな人のび暖分だのしん分
子、い身も。らって暖それ、こしかわ、使てでの

さか時んなム あつがム一しう人中とホ て一いなしかい 時ご下しで母 て験 りと最ホ
 いらよで食なぼりて、つ回よ事がにな!そい人。いよらまほまろさいすさグきしきま言初!四
 まだりい事つくが来いほはうをい言しむれる、グ様うこすんでかいご。んルまでルせうはム月
 しのちまがてもとてろみ、きまういのかはールがねん。とおらまち毎役!しだ!ん意グがに
 て事ごす食かグ、下んのグそくす事入人らず人!ん。だ毎うら、すそ日がブ。んブで味ル始な
 、ち。ベラルこさな関ルし様。のばは、でがブば体て日にれ夜。う、野ホ
 ルつうにててブ。いま菜者ブ三なのかりんル う!てこ大こ謝。午朝作日口ム
 シていていホすをのホ日る内な!思ム下わ変とし 後六つおさの
 1下。る喜的!。持人!にで言い。おブ つのささでだて 九時ていんお
 いグ
 ループホ、ムにつ

さ多い改用会取ホにし日!
 つ額た修つをのり!恵てをムい
 たの行費た快皆組ムまい迎つよ
 多募政用大くさんれたえぼい
 く金機に家引んで設ておまみよ
 のに開ごさき、頂立心天しのグ
 方ご、援ん受施いに地氣た開ル西
 ャ協そ助、け設た向よも。所!山
 に力しを施ての家けい快心式ブ幸
 紙下て頂設下使族て。晴配のホ伸

てみグ
 ルー入
 居のホ
 家族ム
 としほ



いのがてタム しきあ活ばな
 たでんい にを最てそとがく食
 しよばま ほ作後いくは出も事
 まろつす んつにくをみ来みで
 すして。とてグこ守んるんす。
 く生こ う下ルとつなとな
 おきれ にさ!で仲い思健こ
 ケてか 感つブ。よま康れ
 がいら 謝たホ 生く、す。生
 いくも し方! 活

まれみり風 解のあて しら遅るろりをにすよ思起つ遅早に違が害て弟いこたしに我ではとこ裂十 お面
 しなか、評世り心るきこ でれくた、は持作るう、こきれく座い心をいでるもこた認が亡三はと病数振礼を
 よいら人な間ま境子たん あな、めそいつわや出しりる起つな底持まあだ悪と。め子く年あはと年り申お
 うのなにど体すがを私な りいまにれつててけくさてでときてい心つしるけくはいるのなほり頭診の返し借
 がかは気、痛抱に様 ま。た床かも出もで起れい毎、な、配我たただな、つ事病りどまか断あつ上り
 現な言に社 いえは子 しこ翌のら夜てらもきまた日そい、母ですが。めといこもな気ま前せらさいてげし
 実かえす会 程る、を たの朝就食十行つなる。姿のばと時はあ子親冷。の言くはしにん離れだ、まで
 で解なるの に親障毎 繰はく事一くたくと弟がよに仕間枕つのは静私疲子つ逝、た相。れた精こ。心
 有放いあ目 よた害日 り起のを時。弁、洗は今うつ事だもたこ、にはれはてきつが継両る弟神の よ
 りさ悩ま、 くちの見 返きがすご帰当母面、もにきに、とにと障み兄てどいまい、い親この分二

新合立会会町町志志園日京
 聞セ精議、各、部吉都
 社ン神長船社丹日園園地町府
 会夕保会井会波吉部部方
 福、健、郡福町町保振瑞園
 社、福京町社、健興穂部
 事京社都村協和八瑞所局町町
 業都総府議議知木穂有有

上た力多支園のし募改
 げ。をく援部補た金修グ
 ま厚いのし共助とをエル
 すぐた皆て同とことお事!
 おだ様く作諸ろ願のブ
 礼きにだ業團、いたホ
 申まござ所体行しめ、ム
 しし協るを、政ま、ム

たもうな多みの、まなばつり
 いさ願生くがグ今すいかた上人
 とらつ活の誕ル後、こり現げ權
 思にてを方生!も、とは代ら問
 つ努お送がしブ、の簡もれ題
 て力りつ自、ホ第の単、るが
 おりします立一!二、うにこよ大
 てです頂し人ム、ではのうき
 参。く豊でつ第、行こにく
 り私よかもば三、りかとな取

まあを數人不有 業有心葦家京グ刷い同チ
 しりいのの同志 所志のの族都ラ紙づ好ヤ
 たがた皆方へを、健会会府ス業み会リ
 とだ様々 敬支園康、連精ヴ、や、テ
 うきのかそ称 援部推つ合神イス、中イ
 ごまごらの略 す共進ば会障エテ共川ゴ園
 ざし協も他、る同委み、害ンン榮興ル部
 いた力多個順 会作員会思者ヌド印産フ町

院仁洛志山同部生団、
 ク、丹南、紅民町委
 ラ園医病長葉生河員船
 ブ部院院岡ヶ委原協井
 、口、医病丘員町議郡
 、松局院病、町会児
 タ田一有院福内、童
 リ医同志有知会園民

うに頃たみ何ビシし!に体のる団慢し出ンシ 編
 か免でな、とクヤてク四調でとにてたがヤ今集
 疫ああやかしミいで月は睡、入り。く連ミ年後
 はりとれ無てがる開上最眠発つま昼る鎖、の記
 なま思や事おく時所旬悪不作てす間の反咳花
 いすうれ進りるは式はで足的寝がはで応、粉
 の。今、行まか、の症しにによ、何まの鼻症
 で花日良役しとい司状たな起う夜といよ水は、
 し粉こかもたビツ会の。りこと間かりう、
 よ症のつす。ククをピ特、るす布我まにタク

